

経営体の概要

- ・所在地：北海道函館市北美原
- ・経営体名：Y生産者
- ・栽培作物・作付面積：ながねぎ 3 ha、ばれいしょ 7 ha
にんじん 2 ha、その他
- ・労働力：家族 4人、常雇3人、短期雇用6人
(令和6年6月現在)

導入技術

- 導入技術
 - ・ドローンでながねぎほ場のRGB画像を撮影
 - ・画像をVARI測定し、ながねぎの生育差を可視化
- 使用機材
 - ・ドローン Phantom 4 Pro (DJI社)
 - ・画像解析ソフト (PIX4D社)

VARI測定で可視化したながねぎほ場の生育ムラ

導入経緯

- ながねぎの製品率向上を模索していた。
- 傾斜地が多く、土壌養分の不均一が想定された。
- 普及センターからの情報で、ドローンによるVARI測定を知り、試験的に実施することになった。

取組の特徴・効果

- ICTを活用した技術
 - ・ドローン搭載可視光カメラ(4K)で上空から撮影
 - ・撮影したRGB画像をオルソ解析し歪みを補正
 - ・更にVARI測定をし、生育ムラをマップ化
- 上記との組み合わせで行った既存技術
 - ・生育マップに合わせて土壌を採取
 - ・土壌化学性を分析し、生育ムラの原因をpHと特定
 - ・生育マップに基づき、石灰資材の施用量を変化
(施肥機による散布回数で調整)
- 効果
 - ・ほ場内のpH値が均一になる
 - ・ながねぎの生育ムラが軽減し、製品率が向上する
 - ・取組が地域青年グループに波及